

# NUBIC 知的財産情報開示

開示日：2016年7月12日

各 位

NUBIC 知的財産情報の要約を公開いたします。

技術移転等を御希望の場合は、ホームページの「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォームからお申込みください。各担当コーディネーターから御連絡申し上げます。

「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォーム：

[TOP](#)> [共同・受託研究](#)> [申込書／契約書](#)> [技術移転等をご希望の場合](#)> [WEB](#) から

出願番号  整理番号  担当者

表題	遠隔患者支援システム		
発明の用途	完全にクローズ化され、セキュリティー性の高い高速・大容量の光回線 (NGN) を利用することにより、見守り患者のプライバシーが保護された、テレワーク (遠隔地で看護師経験のある人を見守り：監視人材として活用)、テレケアシステム (遠隔地で見守り、異常があれば、アラームを発して、見守り患者のかかりつけの医者に連絡し、ただちに医者が患者の所に急行する) として、利用可能である。		
技術概要	本発明は、近々NTT が一般に開放する次世代ネットワーク (NGN) を用いて、遠隔にて寝たきりの要介護者などの見守り診断において、TV カメラなどの映像と様々なバイタルサイン (NIRS 脳機能計測装置、心拍、呼吸モニター装置) データを同時に収集して、バーチャルホスピタルとなるサーバーにそれらのデータを保存し、自動動画解析により、要介護者の異常を、遠隔にいる (元) 看護師などの医療関係従事者が察知して、サーバーを介して、緊急アラームを要介護者の近くにいる医療関係者 (医者) に発信して、医者が患者のところに駆けつけることが可能となるシステムに関するものである。 最大の特徴としては、完全にクローズ化された NGN 回線 (高速・大容量データ通信が可能となる光ファイバー回線) を用いることにより、高いセキュリティー性が確保される点である。		
発明の効果	本発明に係る遠隔患者支援システムによれば、遠隔地における患者の個人情報を守る適切なセキュリティーが確保でき、遠隔地であっても迅速な医療支援を確保することができる。		
技術分野	電気・電子	情報・通信	
キーワード	次世代ネットワーク、遠隔患者支援システム、テレワーク、テレケア		
国際特許分類	G06Q 50/00	A61B 5/00	



【問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南 4 - 8 - 2 4 日本学会館

TEL : 03-5275-8139 FAX : 03-5275-8328 E-mail : [nubic@nihon-u.ac.jp](mailto:nubic@nihon-u.ac.jp)